

2021

50th

山口蓬春没後50年

30th

記念館開館30周年

記念特別展

山口蓬春没後50年・記念館開館30周年記念特別展

— 第Ⅲ期 昇華 —

山口蓬春 芸術の神髄

四季の連作と皇居宮殿の杉戸絵



《秋》昭和36年(1961) 東京国立近代美術館蔵

2021

10月2日(土) ▶ 11月28日(日)

※会期中に一部展示替えを予定しています。

※展示作品は、都合により一部変更することがあります。

※今後のコロナ禍の状況により、展覧会の開催状況等が変更となる場合がございますので、当館ホームページ等で最新情報をご覧ください。

| 開館時間 | 午前9時30分～午後3時30分(入館は午後3時まで)

| 休館日 | 毎週月曜日

| 入館料 | 一般/600円(高校生以下は無料)

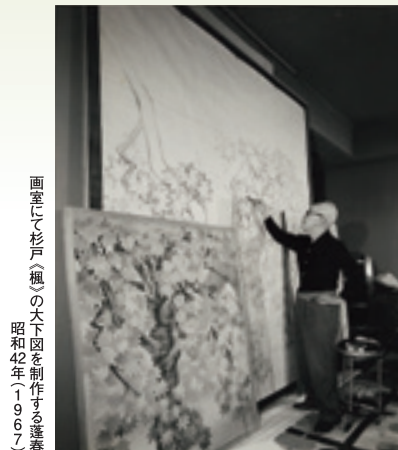
団体割引/100円割引(20名以上の団体で1週間前までに予約した場合)

障がい者割引/100円割引(同伴者1名を含む) 連携館割引/100円割引

※連携館:葉山しおさい公園・博物館(大人券のみ)、神奈川県立近代美術館 葉山(企画展一般券・学生券のみ)

※当館展覧会を何度でもご覧いただけるお得な年間入館券1,800円(発行月から翌年の同月末日まで有効)を発売中

主催/山口蓬春記念館・公益財団法人JR東海生涯学習財団 後援/神奈川県教育委員会



画室にて杉戸(楓)の大小図を制作する蓬春
昭和42年(1967)

 **山口蓬春記念館**
HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320
TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192
URL: <https://www.hoshun.jp/>

山口蓬春 芸術の神髄

四季の連作と皇居宮殿の杉戸絵



1



2



3

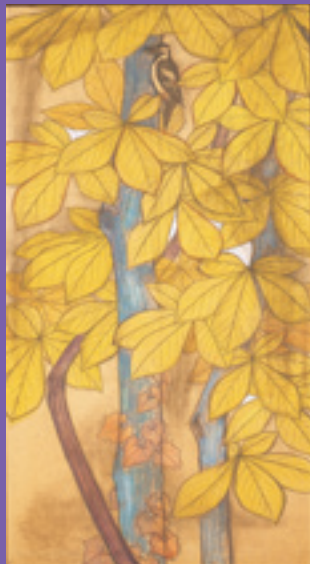
- ①《楓 下図》
昭和45年(1970)
山口蓬春記念館蔵
- ②《新宮殿杉戸楓4分の1下図》
昭和42年(1967)
山種美術館蔵 *後期のみ(11/2-28)
- ③《新宮殿杉戸楓杉板習作》
昭和43年(1968)
山種美術館蔵 *前期のみ(10/2-31)

山口蓬春没後50年・記念館開館30周年記念特別展の最後を飾る「第三期 昇華」では、山口蓬春(1893-1971)の画業の集大成であり、渾身の作ともいえる四季の連作と皇居宮殿正殿松の間杉戸《楓》に焦点をあてた展覧会を開催いたします。

蓬春は杉戸《楓》を制作するより先に、日本の四季をテーマに連作を描き始めます。《秋》(昭和36年〔1961〕)を皮切りに《春》(昭和37年〔1962〕)、《冬(枯山水)》(昭和38年〔1963〕)、《夏》(昭和40年〔1965〕)と描き終えた蓬春は、これまでの功績が認められ、同年文化勲章を受章しました。その間の昭和39年(1964)に、蓬春は橋本明治(1904-1991)とともに宮内庁より皇居宮殿の杉戸絵制作の依頼を受けています。

そして、昭和43年(1968)、ついに蓬春は杉戸《楓》を、明治は《桜》を完成させました。これら宮殿に飾るために制作された作品は一般に公開されることはありません。山種美術館創設者・山崎樟二氏は、それらの作品を多くの人々が身近に鑑賞できるよう、宮殿に関わった作家たちに同様な作品を描くことを依頼し、蓬春もその試みに賛同しますが、体調を崩し、完成には至りませんでした。

本展では、蓬春の杉戸《楓》制作にまつわる作品とともに、四季の連作のうち、杉戸絵の「楓」と「桜」の季節である《秋》と《春》を、小下絵や下図と合わせてご紹介します。四季の連作や杉戸《楓》の制作過程を辿りながら、蓬春が愛した移ろいゆく自然の姿と杉戸絵の華麗な彩りに思いを馳せるとともに、生涯衰えることのなかった蓬春の新日本画創造にかけた情熱を探ります。



4



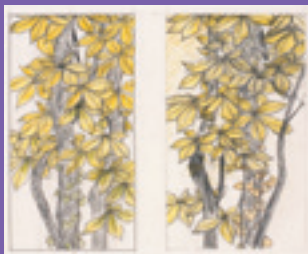
6



7



8



5

- ④《秋 下図》
昭和36年(1961)
神奈川県立近代美術館蔵
- ⑥《とちの木(秋下図)》
昭和36年(1961)
神奈川県立近代美術館蔵
- ③《春 下図》
昭和37年(1962)
神奈川県立近代美術館蔵
- ⑦《梨(春下図)》
昭和37年(1962)
神奈川県立近代美術館蔵
- ⑤《秋 下図》
昭和37年(1962)
東京国立近代美術館蔵

本展のみどころ

1.代表作《秋》《春》と杉戸《楓》の制作過程を詳しくご紹介

スケッチ、小下絵、小下図、下図を経て本画へと至る日本画独特の制作過程とともに蓬春の構想から作品完成までの変遷をご覧いただけます。

2.名画誕生の地へ十数年ぶりの里帰り展示

《秋》は13年ぶり、杉戸絵の下図、杉板習作に至っては17年ぶりに当館で展示します。

3.画室から宮殿へ—蓬春と五十八の協演

四季の連作や杉戸絵等を制作した画室は、蓬春と深いつながりのある近代数寄屋建築の名匠・吉田五十八(1894-1974)が設計しています。そして、その画室で制作された杉戸絵は、この五十八が造営顧問を務めた宮殿に納められました。蓬春と五十八の芸術を通じた同志としての深い繋がりにもご注目ください。

関連イベントのご案内

山口蓬春生誕日 10月15日(金)

山口蓬春の生誕を記念して来館者全員にオリジナルグッズをプレゼントします

展示解説

展示の見どころを学芸員が解説します

日時 10月24日(日) 13:30~(約20分)
参加費 無料(ただし、当日の入館券は別途必要)
定員 先着5名程度
集合 開始時間までに入館料をお支払いの上、受付前にご集合ください

初冬の呈茶会

旧山口邸の佇まいとともに抹茶と季節のお菓子をお楽しみください(学芸員の解説付き)

日時 11月6日(土)、7日(日)
第1席 10:00~10:30、第2席 11:00~11:30、
第3席 12:00~12:30、第4席 13:15~13:45、
第5席 14:15~14:45

場所 桔梗の間等
参加費 1席600円(ただし、当日の入館券は別途必要)
定員 1席5名
協力 葉山町茶道連盟
申込み 2日前までに電話で氏名、希望日、人数、電話番号をご予約ください

※イベント等は中止や変更になることがあります。最新情報は当館ホームページをご覧ください。

次回展示のご案内

企画展(初冬) 山口蓬春と吉祥コレクション

会期: 令和3年(2021)12月4日(土)~
令和4年(2022)1月30日(日)



【交通案内】

JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より京浜急行バス3番乗り場又は京浜急行線「逗子・葉山駅」南口2番乗り場より「海岸回り葉山行(逗12)か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約20分「三ヶ丘・神奈川県立美術館前」下車徒歩2分。※専用駐車場はございませんので、周辺の駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

HP <https://www.hoshun.jp/>

FB <https://www.facebook.com/yamaguchihoshun>

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320
TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192



山口蓬春記念館
HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL